



週報 青森県感染症発生情報 (2024年第26週)

I 第26週の発生動向 (2024/6/24~2024/6/30)

1. 咽頭結膜熱については、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。
2. 水痘については、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。

II 第26週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															
インフルエンザ									1	0.11			1	0.02	0
新型コロナウイルス感染症	14	1.17	8	0.67	41	3.42	8	1.14	28	3.11	6	1.00	105	1.81	-6
RSウイルス感染症	5	0.71	12	1.50	9	1.29	4	0.80	5	0.83			35	0.95	-9
咽頭結膜熱	7	1.00	4	0.50	12	1.71					11	2.75	34	0.92	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	1.86	16	2.00	4	0.57	34	6.80	15	2.50	7	1.75	89	2.41	-14
感染性胃腸炎	23	3.29	25	3.13	24	3.43	17	3.40	5	0.83	2	0.50	96	2.59	19
水痘			1	0.13			1	0.20	3	0.50	5	1.25	10	0.27	-19
手足口病	8	1.14	3	0.38	1	0.14	1	0.20			3	0.75	16	0.43	5
伝染性紅斑	1	0.14							11	1.83			12	0.32	-1
突発性発しん	2	0.29	2	0.25	2	0.29	1	0.20	1	0.17			8	0.22	-6
ヘルパンギーナ	1	0.14	10	1.25									11	0.30	0
流行性耳下腺炎			1	0.13	2	0.29			1	0.17			4	0.11	4
眼科															
急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.10	1
流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.10	0
基幹															
感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
クラミジア肺炎															0
細菌性髄膜炎															0
マイコプラズマ肺炎											8	8.00	8	1.33	5
無菌性髄膜炎															0

感染症の窓

昨年から劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者数が全国で増加しており、2023年の全国の年間累計報告数は過去最多となる941人(速報値)となりました。

本疾患の病原体は、2023年夏以降増加しているA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の原因と同じ溶血性レンサ球菌です。通常は溶血性レンサ球菌に感染しても無症状や咽頭炎などで経過しますが、まれに無菌的な部位(血液、筋肉など)に菌が侵入すると急激に症状が進行し、重篤化することがあります。

北海道・東北地区の7道県について、2023年の年間累積報告数と2024年第25週時点の累積報告数を比較すると図のとおりとなります。2024年はまだ折り返しというところですが、7道県中5道県では2024年の報告数が既に2023年を上回っています。また、青森県を含むその他の県についても2023年と同程度の報告数となっており、今後、2024年の報告数が2023年を上回る可能性が高いと考えられます。

感染経路については不明な場合も多くありますが、飛沫感染、接触感染のほか、創傷感染(傷口からの感染)等に注意が必要です。手洗いなどの基本的感染対策と合わせて、けがをした際は、傷口を清潔に保ち、傷口の腫れや痛み、発熱等の感染の兆候がみられたら直ちに医療機関を受診しましょう。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症が増加しています!!

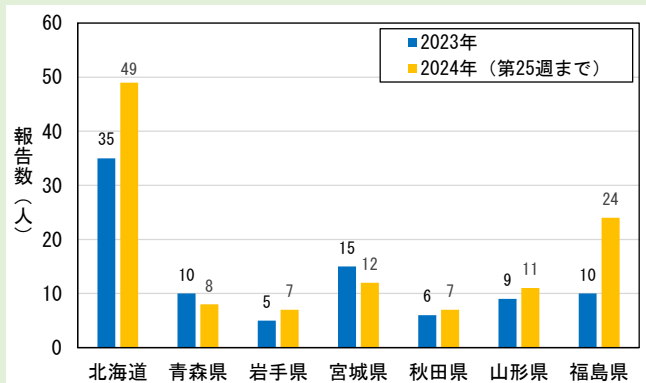


図 2023年の年間累積報告数と2024年第25週時点の累積報告数の比較 (いずれも速報値)

○詳しい情報はこちらをご覧ください。 [劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは\(厚生労働省 HP\)](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核(二類感染症)：青森市1人、むつ1人

(2024年計：49人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※()内は、検査材料及び検体採取日 報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2024年第23週～2024年第26週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23	つつが虫病1人	E型肝炎1人			水痘(入院例)1人	
24	アメーバ赤痢1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	レジオネラ症1人 梅毒1人		侵襲性肺炎球菌感 染症1人	
25	劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人	侵襲性インフルエン ザ菌感染症1人			レジオネラ症1人	百日咳1人
26						

Ⅵ 結核(二類感染症) (2024年第23週～2024年第26週)

(人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
23		1	1			
24		1				
25		2	2			
26	1					1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第25週までの累計）

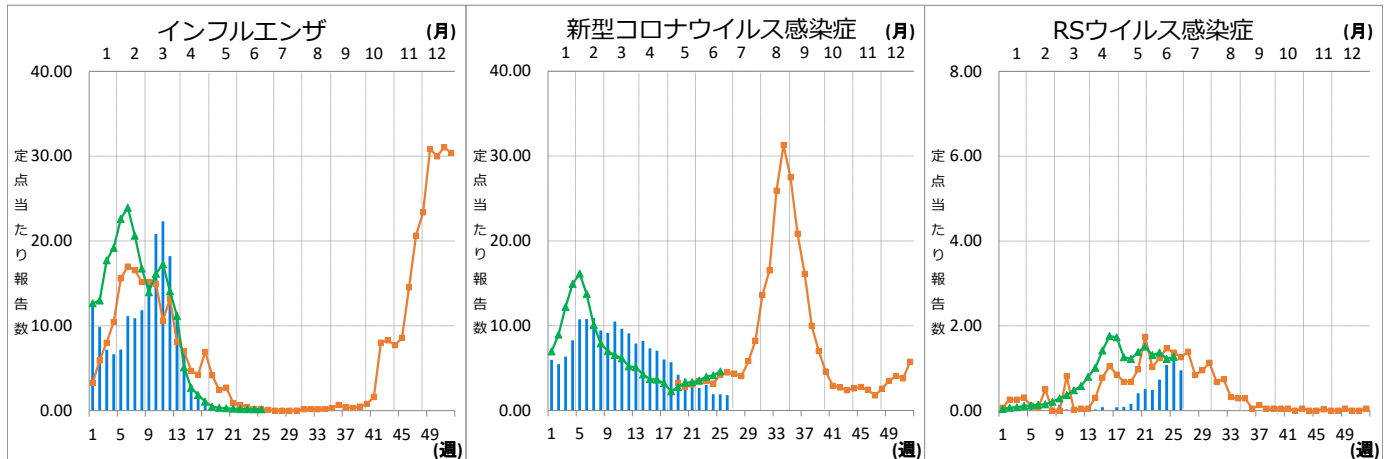
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	エムポックス
累積報告数	7195	2	21	896	19	4	263	78	5	14
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症
累積報告数	5	6	1	70	1	98	92	149	1	2
分類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	15	9	870	3	249	104	911	16	272	12
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトкокクス症
累積報告数	78	1101	472	18	336	26	1420	227	6482	107
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症				
累積報告数	35	64	495	4	24	3				

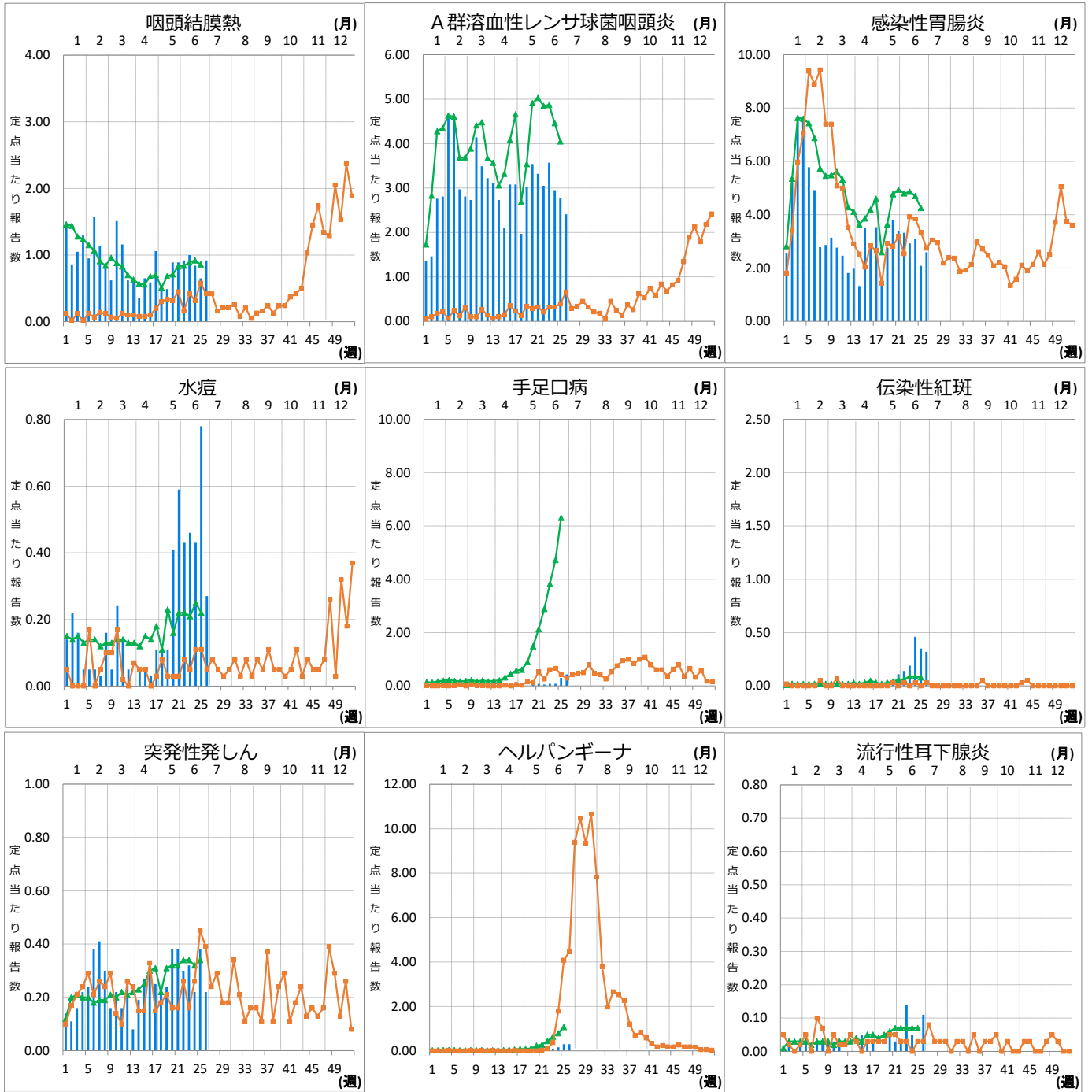
青森県（2024年第1週～第26週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	49	8	1	7	9	1	18	2	4	8
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳			
累積報告数	1	2	12	2	12	2	10			

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第26週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ■は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第26週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ■は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国

